節湯A1 節湯C1 節湯AB

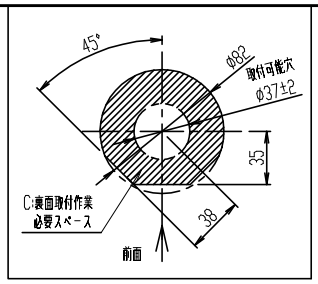
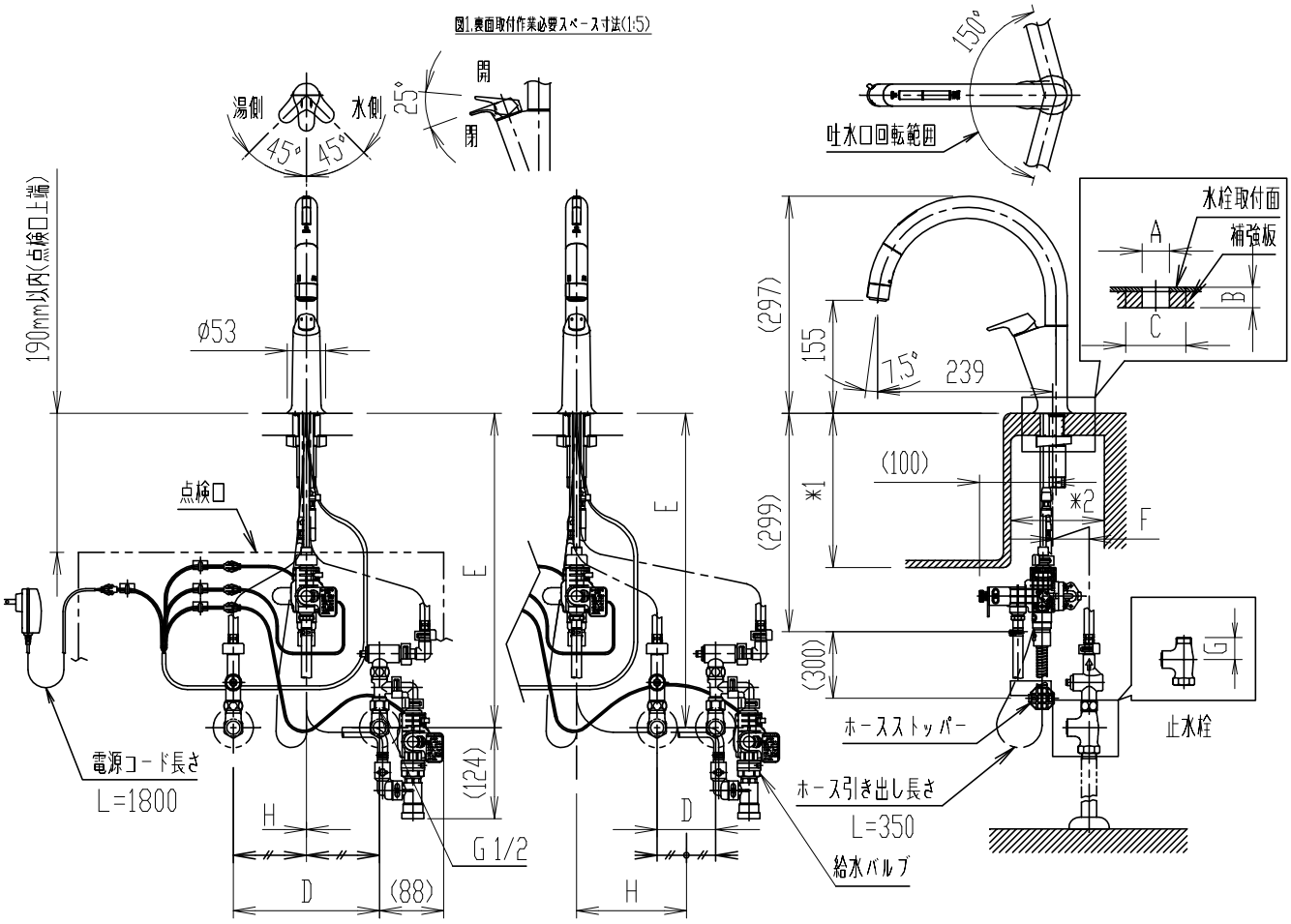



図1.裏面取付作業必要スペース寸法(1:5)

| | 中心振分けの場合 | 片側偏芯の場合 |
|---|---|---|
| A：取付可能穴径 | φ37±2mm | |
| B：取付可能カウンター厚さ | 6~30mm | |
| C：裏面取付作業必要スペース寸法 | 図1に示す範囲以内 | |
| D：給水・給湯止水栓芯々寸法 | 200±10mm | 80~100±10mm |
| E：水栓取付面から給水・給湯用止水栓中心までの寸法 | 400±10mm | 360±10mm |
| F：水栓中心から給水・給湯の止水栓接続中心までの寸法 | 0~50mm | |
| G：止水栓の標準寸法 | 30~35mm | |
| H：水栓中心から給水・給湯芯々の中心までの寸法 | 0mm | 120~150mm |




・(水抜式)
・(　)内は、参考寸法。
・AC100Vコンセントが別途必要です。
・給水バルブは、止水栓よりも右側に取り付けてください。
・水栓取付面からシンク下の底板(棚板)までの距離が540mm以上必要です。
　使用上問題はありませんが、ホース収納時に底板(棚板)との干渉が大きくなり、ホース収納性が悪くなります。
・施工には、
　・水栓取付面上方に425mm以上の空間が必要です。
　　※使用時は、375mm以内に他器具(昇降キャビネットを下ろした時の取手含む)がないようにしてください。
　・シンク深さ(厚み含む)*1寸法が220mm以上の場合は寸法*2が145mm以上ないと、バルブがシンクと干渉し施工できません。
　　*1寸法が220mm以上かつ*2寸法が145mm未満の場合は当社お客様相談センターまでお問合せください。
・水栓上方の他器具(昇降キャビネットを降ろした時の取手含む)をセンサーが検知する可能性がありますので、実物での検証が必要です。
・給水給湯ホース部を隠ぺいする場合は点検口を設けてください。
・カウンター裏面の補強板は、木質系のボードとしてください。
・節湯記号については、LIXILホームページを参照ください。
(http://inax.lixil.co.jp/eco/products_data/saving_energy/)

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 日付 | 2020.09.24 | 尺度 | 1:10 | 製図 | 釜山 | 検図 | 磯崎 | 品番 | SF-NA471SNU |
| 図番 | XK-SFNA471-0004G | | | | | | | 品名 | キッチン用タッチレス水栓(13) |
| 備考 | | | | | | | | | 株式会社 LIXIL |